

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」近鉄郡山駅前校		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 11 月 1 日 ～ 令和 7 年 12 月 13 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和 7 年 12 月 1 日 ～ 令和 7 年 12 月 20 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 1 月 10 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者の状況、変化に合わせた、柔軟かつフレキシブルな支援	個別の支援であることを活かし、ご利用者様個々のニーズや興味の広がり、成長に合わせて、興味関心が広がり、楽しくいろいろな刺激を受けてもらうことができるよう教材を準備し取り組んでいます。	校舎の支援用具等の充実、スタッフのスキルアップを図り、より適切な支援が提供できるよう取り組んでまいります。
2	保護者様との密な情報共有、コミュニケーション	支援に同席していただいたり、日々の支援後にフィードバックのお時間を設定していることで、ご利用者様の成長や支援内容について共有するとともに、保護者様からご家庭や園でのご様子を伺ったり、ご相談やご意見をいただくことのできるようにしています。	引き続きフィードバックの時間を大事にしつつ、保護者様に別途ご相談の場や園訪問等の機会をご案内し、お子様を共にサポートしていける関係づくりを行っていきたいと思います。
3	個別支援と小集団支援を組み合わせでの支援提供	個別支援を主としながら、ご利用者様のご様子に応じて小集団支援も組み合わせることで、児童間で刺激しあったりコミュニケーションをとる場面を持ち、成長をサポートしていけるようにしています。	年齢層に応じて、例えば年中～年長の小集団では就学を見据えての課題確認や適したサポートについて検討するなどのテーマを持ち、個別での就学支援等に役立てていくよう取り組んでいきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	防災訓練実施状況、マニュアルの存在が周知されていない	防災訓練は毎月実施しておりますが、個別支援という形態より全児童が参加しての避難訓練が実施されておらず、参加者が限られてしまっています。 マニュアル等については廊下の書棚に設置することとし、ご自由に閲覧していただけるようにいたしておりますが、まだ周知が不十分な状況となっております。	より多くのご利用者様に防災訓練に参加していただけるよう取り組んでまいります。 マニュアル等については引き続き廊下の書棚に設置し、閲覧していただけるようお声かけを行ってまいります。
2	地域交流が行われていない	個別かつ短時間の支援であることもあり、地域交流等は行えておりません。 保護者様のご要望に応じて、園見学や情報共有などは行わせていただいております。	現在のご利用者様は園との併行利用をされております。 支援を通じて、園などの集団活動にプラスになるような力を伸ばせるよう取り組んでまいります。 また園との情報共有や園見学にも積極的に取り組んでまいります。
3	保護者会などの保護者様同士の交流の機会が少ない	個別支援であり、保護者様同士が顔を合わせる機会も少ないため、日常的な交流が少なくなっています。 また、研修会や保護者会も今年度は残念ながら実施できませんでした。	今後、保護者様との交流会や、研修会などが実施できるよう企画しております。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」近鉄郡山駅前校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

7

回収数

6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	2			・広すぎず狭すぎず、ちょうどいいです。 ・部屋全体を使用する場合は十分なスペースがあると思うが、パーテーションを使用して区切る場合、体を動かすにはやや狭いように思う。	限られたスペースを活かしつつ、その中で楽しめる支援を提供できればと考えております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6				・過不足を感じたことはないです。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6				・自宅のように知り尽くしていると思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6				・いつも清潔です。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6				・毎回工夫があると思います。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6				・合っています。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6				・言語化されて、とてもわかりやすいです。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6				・適宜、状況に沿って対応してもらっています。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6				・充分だと思います。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6				・成長や変化に合わせてもらっています。 ・毎月一回小集団で活動する日があり、様々な内容が考えられていると思う。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	1	2	・事業所内での交流はあります。	交流の機会はありませんが、保護者様のご希望や必要に応じて、園見学等積極的に行わせていただいております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6				・ありました。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6				・ありました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1		2	・毎回参考になる情報をもらっています。	保護者様により有益な情報をお伝えできるよう研鑽してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6				・充分だと思います。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	1		1	・利用の度に助かっています。 ・面談という形ではあまりないが、日々の振り返りの際に相談はできる。	事業所内相談支援を実施しております。 今後より積極的に周知、お声掛けしていくようにいたします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5				・安心できる居場所です。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1		3	・機会があっても仕事で都合がつかず参加できていないかもです。	保護者様との座談会、交流会のようなものを企画していきたいと考えています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4			2	・すぐ安心できる回答をもらえます。	今後も迅速に対応できるよう心掛けてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6				・関係性をよく理解してもらっています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4			2	・HP更新が楽しみです。	HPにて情報を発信しております。HPをより認知していただけるようお伝えしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6				・充分だと思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1		1	・充分だと思います。	十分に周知が出来ておらず申し訳ありません。マニュアル等は廊下の書棚に設置し、閲覧していただけるようにいたしました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1		2	・充分だと思います。	毎月一回災害訓練を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6				・充分だと思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			1	・充分だと思います。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6				・とてもリラックスしています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6				・せかされるほど楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	6				・とても感謝しています。	ありがとうございます。今後も楽しみに通っていただけるよう工夫して取り組んでまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
こどもサポート教室「きらり」近鉄郡山駅前校		2026 年 2 月 14 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保しています。	限られたスペースですが、工夫してスペースにあった支援を提供できるよう取り組んでまいります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる配置数を配置しています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		支援グッズ等は収納し、パーテーションを用いてお子様に合わせた環境になるよう工夫しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃・消毒・整理・整頓の徹底を行っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室三部屋があり、またプレイルームをパーテーションで区切る、状況に応じて静養室の利用等も可能です。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に各指導員との業務上の目標設定と振り返りの機会、また校舎改善のための意見聴取を行っております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様へのアンケートを実施し、業務改善につなげています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		校舎内で話しやすい環境を作るとともに、グループウェアを通じて上役にも連絡を取りやすいようになっております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在は、利用者・社内の二者評価をとっております。第三者による外部評価については現在実施の予定はありませんが必要に応じて実施を検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		初任者研修を実施し、その後も全ての職員に対し継続的に（月1～2回程度）社内研修を行っています。	
適切な支援の	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		計画期間ごとにモニタリング・アセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画は指導員の意見を確認しつつ原案を作り、それを元に担当者間で会議を行ったうえで作成しております。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画はグループウェア上で共有されており、目標や計画に沿った支援を行うよう取り組んでいます。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		統一したアセスメントシートを使用しています。1年に1回アセスメントを取る ことにより1年間の成長を評価しています。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		アセスメントをもとに、優先順位をつけ複数の項目を組み合わせ個別支援計画を策定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		基本的に個別支援であるため、支援計画に基づき、担当指導員を中心に立案させていただいております。

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		支援後のフィードバック時に保護者様の要望を確認したり、支援時の様子に合わせてより良いプログラムになるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育を柱に、一部小集団療育を実施し、集団活動を取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		当日のスケジュールや動き確認は行っており、集団活動実施の際には事前の打ち合わせ、リハーサル等を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼は行っていますが、朝礼にて職員間での情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回指導記録をとり、適時見直すことで、お子様の成長に合わせて指導内容や方法を更新しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		計画期間（6ヵ月）ごとにモニタリングを通して面談を行い、達成度と課題を導き出し、新たな目標とともに個別支援計画を作成しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必要な会議には日程等調整し、ご利用者様の担当指導員や児童発達支援管理責任者が参加をしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要性や保護者様からのご要望に応じて、関係諸機関との連携をとっています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		現在は併行利用のご利用者様だけとなります。単独利用の場合、地域への移行に向けたサポートを行ってまいります。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		ご要望に応じ、情報提供や保護者様へのサポート等行っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	○			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		現在行っておりませんが、必要に応じてそうした機会を設けていきたいと考えております。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		地域交流については、限られた指導時間の中で実施が難しく行えていません。個々のお子様の状態に応じて、必要があれば支援計画に位置付けた上で実施いたします。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎支援後にフィードバックの時間を設け、保護者様と情報共有できる体制を整えています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		フィードバック時に日常でのサポートについてお話をさせていただいています。また当社内外にて実施している研修会や勉強会について情報提供を行っています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定、利用者負担等について、契約時にご説明するとともに事業所内に掲示しています。支援内容については、個別支援計画の提示時の説明に加え、毎回の支援終了後に保護者様へフィードバックの時間を設けています。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング時に保護者様の現在のご要望を聞き取るようにしております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画は支援内容とねらいについて説明し、保護者の方から同意を得ております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		主にフィードバック時に相談に応じております。また、悩みや相談がある場合は別途お時間をとり対応させていただいております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		今後、小集団療育に参加いただいた保護者様での交流、座談会などを企画していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		フィードバックの時間など、ご相談をうかがえる体制を整えております。いただいたご意見等については内容に応じ、苦情受付窓口（担当者）を選任して、社内フローに則り対応しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		室内提示スペースにて活動内容やイベントのご案内等を提出しています。また当社ＨＰにも公開しています。	HPについて、より一層保護者様にご覧になっただけようお伝えしてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類は鍵付き書庫に保管しています。また個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定するなど、適切な対応を行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様・保護者様の状況に応じて、視覚的情報やデバイスなどを活用して、齟齬のないやり取りを心がけています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域向けのイベント等は行っておりません。要望があれば、常時施設の見学や事業所の説明等の対応はしております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定し、定期的に研修や訓練を実施しています。	十分に周知が出来ていなかったため、マニュアル等は廊下の書棚に設置し、閲覧していただけるようにいたしました。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、上記通り定期的に研修や訓練を実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		初回面談時や契約時に全てのお子様に対して服薬の有無や病歴を確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		当事業所では基本的に支援中の食事・おやつを提供はしておりません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、事業所内で定期的に研修や訓練を行い、安全な環境下で支援に入っただけよう取り組んでいます。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			十分に周知が出来ていなかったため、マニュアル等は廊下の書棚に設置し、閲覧していただけるようにいたしました。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		マニュアルを策定、虐待防止委員会を設置して、研修を実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		マニュアルを策定、身体拘束適正化委員会を設置して、研修を実施しています。身体拘束が必要となる場面が想定されるご利用者様については、保護者様とご相談の上、具体的内容を個別支援計画の特記事項に記載します（現在身体拘束が必要となるお子様はありません）。	